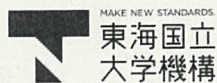


1/7

訂正

報告者の学年及び所属の誤り



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和6年1月16日(火) 岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 工学部附属宇宙研究利用推進センター 地域協学センター	宮坂 武志 佐々木 実	直通・FAX 058-293-2523 直通・FAX 058-293-2541
航空宇宙産業課 産業振興係	鎌倉 光利 洞口 浩平	内線3762 直通058-272-8836 FAX 058-278-2653

『ぎふハイスクールサット(GHS)プロジェクト』

県内工業高校生が小型人工衛星の完成を知事に報告します

県では、宇宙産業を将来の中核産業として育成・支援するため、令和3年度にぎふ宇宙プロジェクト研究会^{※1}を立ち上げました。

このたび、本研究会の取組みの一環として、県内工業高校生が令和6年夏の打ち上げを目指し、令和4年4月から開発を進めてきた小型人工衛星の打上げ機が完成したので、知事に報告します。

記

- 1 日時 令和6年1月22日(月) 11:30~12:00
- 2 場所 県庁6階 第一応接室
- 3 報告者

岐南工業高等学校	建築工学科	2年	いわた	みゆう
			岩田	海遊
岐阜工業高等学校	航空機械工学科	3年	よこやま	そうた
			横山	創大
同		3年	ほった	かずま
			堀田	和雅
同		3年	もりかわ	りゅうた
			森川	竜汰
同	電子機械工学科	3年	きむら	ゆうと
			木村	勇翔
大垣工業高等学校	情報技術工学科	3年	こだま	ゆうや
			児玉	悠也
岐阜大学	学長		よしだ	かずひろ
			吉田	和弘

電子

※1 ぎふ宇宙プロジェクト研究会

県内航空宇宙関連企業が航空機製造で培ってきた技術や知見を活かし、宇宙関連機器（主に人工衛星）の部材サプライヤーとなるために必要な取組みや、今後拡大する宇宙産業において必要となる高度な宇宙技術者の育成に必要なカリキュラム等について、具体的な方策を検討・実施するため、令和3年度に設立。



参考 HP: <https://www.pref.gifu.lg.jp//page/199751.html>

※2 ぎふハイスクールサット (GHS) プロジェクト

ぎふ宇宙プロジェクト研究会の取組みの一環として、岐阜大学が行う人材育成事業（県の補助事業）の一つで、令和6年夏の打ち上げを目指して県内工業高校生が小型人工衛星の設計・製造・打上げ・運用までを一貫して行う実践的な高度宇宙技術者育成プログラム。

ぎふハイスクールサット試作機



【フライトモデルの規格（2U）】

フライトモデルとは、各種試験に合格した試作機と同一の設計及び製造方法で製作し、軌道環境を模擬した試験を行い、製造工程に起因する欠陥が潜んでいないことを確認するためのモデルで、実際に宇宙に打ち上げるものと同等の機体です。

<寸法>

縦 10cm×横 10cm×高さ約 20cm

<質量>

2.66kg 以下

【搭載予定機器】

コンピュータ、カメラ（近赤外、4K、広角等）、バッテリー、太陽電池パネル、各種センサ（温度、ジャイロ等）